

# 県政さわやかタウンミーティング

令和6年5月20日

沼津工業技術支援センター長

主催者	部局	経済産業部	所属	工業技術研究所沼津工業技術支援センター
開催日時	令和6年05月27日（月） 14時～16時			
会場	沼津工業技術支援センター（）			
名称	県政さわやかタウンミーティング 静岡県工業技術研究所沼津センター協議会第35回通常総会			
テーマ	産業人材の確保・育成・リスクリングについて			
開催目的	工業技術研究所沼津工業技術支援センターの活動の円滑化を図るために、工業技術研究所沼津工業技術支援センターの主たる利用者である沼津センター協議会会員を対象として意見交換を行い、中小企業等への支援施策に反映させる。			
参加者	静岡県工業技術研究所沼津センター協議会の会員 13人 男 12人 女 1人 <input type="checkbox"/> 小学生未満 <input type="checkbox"/> 高校生 <input type="checkbox"/> 特別支援学校生 <input type="checkbox"/> 小学生 <input type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> 中学生 <input checked="" type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> その他（）			
対応者	沼津工業技術支援センター長			

## 開催結果概要

開催方法 (方法・次第等概要)	令和6年度 静岡県工業技術研究所沼津センター協議会第35回通常総会					
意見件数	13件（担当事業 13件、担当事業外 0件）	発言者数	13人			
意見概要	<p>(人材確保について)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・途中退職者は少ないため、人材が足りないということがない。社員が安心して働き続けられる環境作りが大切だと考えている。</li> <li>・若手が入りづらい業界のため、週休2日制を取り入れた。</li> </ul> <p>(人材育成・リスクリングについて)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スキルアップ等は、指示をするだけでは結果が出ないため、会社として報奨金を出している。</li> <li>・社会人ドクターとしてどこかの大学の博士課程に行くことにしている。</li> <li>・実務の中で人材育成をしている。技術の深掘りを求めている。</li> <li>・リスクリングよりも、マネジメントなどのスキルアップもしていきたい。</li> <li>・原理原則等を安く社員教育できる機関があるとありがたい。地域の業界の交流の場にもなると期待する。</li> </ul>					
施策への反映の方向性	各企業及び団体において、様々な人材確保や育成の取組を行っていた。引き続き、協議会を通して情報提供を行い、関係企業のニーズの把握に努める。また、センターの利用の周知を図り、見学や施設利用等の希望に対応していく。					
企画運営担当	所属	経済産業部 工業技術研究所総務課沼津分室	担当者	技術支援担当 黒瀬 智英子	電話	055-925-1100

## 県政さわやかタウンミーティング

令和7年1月10日

校長

主催者	部局	経済産業部	所属	浜松技術専門校訓練課
開催日時	令和6年06月17日（月） 11時45分～12時10分			
会場	浜松技術専門校（）			
名称	県政さわやかタウンミーティング			
テーマ	本校に期待すること			
開催目的	本校の職業訓練に対する評価、要望、提案を伺う			
参加者	静岡県西部技能センター運営協議会			11人 男 0人 女 0人
	<input type="checkbox"/> 小学生未満	<input type="checkbox"/> 高校生	<input type="checkbox"/> 特別支援学校生	
	<input type="checkbox"/> 小学生	<input type="checkbox"/> 大学生		
	<input type="checkbox"/> 中学生	<input checked="" type="checkbox"/> 一般		
	<input type="checkbox"/> その他（）			
対応者	校長			

### 開催結果概要

開催方法 (方法・次第等 概要)	静岡県西部技能センター運営協議会の総会終了後に実施。 1. 本校職業訓練に関する状況報告（校より） 2. 参加者からの意見拝聴			
意見件数	5件（担当事業 4件、担当事業外 1件）		発言者数	4人
意見概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 造園業への就職者に浜松技術専門校の訓練を経由している人が増えていると感じている。</li> <li>・ 在職者が職業訓練を受講する際の支援制度（賃金や費用の補助）の拡充を希望する。</li> <li>・ AIに関する訓練のなかでパイソンなどプログラムについても実施してはいかがか。</li> <li>・ 校の施設を借りて溶接試験を行っているが、機器の状態が悪く修繕か更新をお願いしたい。</li> <li>・ 県には工科短大もあることから応募者増には浜松校としての特徴を出していく必要がある。</li> </ul>			
施策への 反映の方向性	機器の更新についてはR 7年度予算要望に反映した。その他の意見については実施の可否について検討を行う。			
企画運営担当	所属	経済産業部 浜松技術専門校訓練課	担当者	内山聡
			電話	053-462-5602

## 県政さわやかタウンミーティング

令和6年5月31日

富士工業技術支援センター センター長

主催者	部局	経済産業部	所属	工業技術研究所総務課富士分室
開催日時	令和6年06月19日（水） 15時～16時30分			
会場	富士工業技術支援センター（）			
名称	県政さわやかタウンミーティング 静岡県工業技術研究所富士センター協議会役員会			
テーマ	富士工業技術支援センターに期待すること			
開催目的	富士工業技術支援センターの活動の円滑化を図るため、富士センター協議会の役員を対象として意見交換を行い、中小企業への支援施策に反映させる。			
参加者	静岡県工業技術研究所富士センター協議会役員会 <span style="float: right;">12人 男 12人 女 0人</span> <input type="checkbox"/> 小学生未満 <input type="checkbox"/> 高校生 <input type="checkbox"/> 特別支援学校生 <input type="checkbox"/> 小学生 <input type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> 中学生 <input checked="" type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> その他（）			
対応者	富士工業技術支援センター センター長			

### 開催結果概要

開催方法 (方法・次第等概要)	方法：対面とオンライン（webexの使用）のハイブリット形式 概要：令和6年度静岡県工業技術研究所富士センター協議会役員会の議題の1つに、『意見交換 富士工業技術支援センターに期待すること』を設定し、出席者から意見を伺った。		
意見件数	10件（担当事業 10件、担当事業外 0件）	発言者数	12人
意見概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>○センター設備の充実について <ul style="list-style-type: none"> <li>・中小企業にとって、分析機器に投資することはハードルが高いため、公設試の設備拡充を希望する。</li> <li>・製品開発を加速させるため、シミュレーションソフトを導入してほしい。</li> </ul> </li> <li>○情報提供について <ul style="list-style-type: none"> <li>・あらゆる方面から情報を収集し、企業に展開してほしい。</li> <li>・助成金や投資に関する情報提供を行ってほしい。</li> <li>・リサイクルについては、コスト面も考慮に入れて研究を進めてほしい。</li> </ul> </li> <li>○センターの利活用促進、交流拡大について <ul style="list-style-type: none"> <li>・小規模事業者が気軽に相談しやすい施設を目指してほしい。</li> <li>・異分野との連携を進めるため、研究員との意見交換の場を設けてほしい。</li> <li>・コロナ前に実施していた対面での交流会を企画してほしい。</li> </ul> </li> <li>○人材確保に向けた取組について <ul style="list-style-type: none"> <li>・人手不足の観点から、業務の自動化についてご指導いただきたい。</li> <li>・将来的な働き手確保のため、小、中、高校生を対象とした、実験や体験教室を開催してほしい。</li> </ul> </li> </ul>		
施策への反映の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>○高額機器やシミュレーションソフトの整備・導入については、当センターだけでなく、研究所全体として対応していく。機器が使われることで次の更新に繋がってくることから、企業の積極的な利活用を促す。</li> <li>○新技術、助成金等の情報提供は、研究所が発行しているメールマガジンへの登録を依頼した。また、研究成果の社会実装に向けては、導入・ランニングコストが重要なので、常に確認しながら研究を推進していく。</li> <li>○研究員への技術相談や意見交換の要望については、まずは気軽に当センターに連絡していただくよう依頼した。技術的に対応が困難な場合は研究所や他の研究機関等に対応を依頼するなど交流を拡大させる。</li> <li>○AI技術の実装支援等を通じて、省力化を推進していく。また、ものづくりに興味を持ってもらうため、県民の日事業で小学生を対象とした体験イベントを開催している。高校生を対象に出前講座を実施した実績もあり、要望があれば対応していく。</li> </ul>		

企画運営担当	所属	経済産業部 工業技術研究所総務課富士分室	担当者	小泉雄輔	電話	0545-35-5190
--------	----	-------------------------	-----	------	----	--------------

# 県政さわやかタウンミーティング

令和6年5月20日

浜松工業技術支援センター長

主催者	部局	経済産業部	所属	工業技術研究所浜松工業技術支援センター
開催日時	令和6年07月02日（火） 13時30分～16時			
会場	浜松工業技術支援センター（）			
名称	県政さわやかタウンミーティング 静岡県工業技術研究所浜松工業技術支援センター協議会令和6年度役員会			
テーマ	業界の現状と課題及び課題解決のために研究所に期待すること			
開催目的	県工業技術研究所浜松工業技術支援センターの活動の円滑化と健全な発展を目的に、浜松センター協議会役員から意見や要望を伺い、中小企業等への支援施策に反映させる。			
参加者	浜松センター協議会役員 <input type="checkbox"/> 小学生未満 <input type="checkbox"/> 高校生 <input type="checkbox"/> 特別支援学校生 <input type="checkbox"/> 小学生 <input type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> 中学生 <input checked="" type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> その他（）			33人 男 33人 女 0人
対応者	浜松工業技術支援センター長			

## 開催結果概要

開催方法 (方法・次第等 概要)	令和6年度 浜松センター協議会令和6年度役員会 ・当センターの昨年度業務実績及び今年度研究概要の報告 ・昨年度協議会委員会の意見に対する当センターの対応結果の報告 ・当センターの施設見学					
意見件数	12件（担当事業 12件、担当事業外 0件）	発言者数	8人			
意見概要	・3Dスキャナが導入されるということで期待している ・CNF技術を開発して西部地域で発展させていただきたい ・分野を超えて交流できる場（異業種交流）や研究会のジョイントがあるといい					
施策への 反映の方向性	協議会や研究会、講習会等を通して情報提供を行い、関係企業のニーズの把握に努める。 また、センターの利用の周知を図り、見学や施設利用等の希望に対応していく。					
企画運営担当	所属	経済産業部 工業技術研究所総務課浜松分室	担当者	上野 貴康	電話	053-428-4152

# 県政さわやかタウンミーティング

令和7年2月18日

工科短期大学校 副校長兼事務局長

主催者	部局	経済産業部	所属	工科短期大学校学務課
開催日時	令和6年07月05日（金） 14時～15時45分			
会場	工科短期大学校静岡キャンパス（）			
名称	県政さわやかタウンミーティング 工科短期大学校協力会総会			
テーマ	工科短期大学校運営に関する協力会会員企業・団体との意見交換			
開催目的	工科短期大学校の運営方針等について、当校及び地域の状況を熟知している協力会の方々と意見交換を行う。			
参加者	協力会会員（企業・団体） <input type="checkbox"/> 小学生未満 <input type="checkbox"/> 高校生 <input type="checkbox"/> 特別支援学校生 <input type="checkbox"/> 小学生 <input type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> 中学生 <input checked="" type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> その他（）			35人 男 0人 女 0人
対応者	工科短期大学校 副校長兼事務局長 工科短期大学校 副校長兼沼津キャンパス長 工科短期大学校 技監 工科短期大学校沼津キャンパス 技監			

## 開催結果概要

開催方法 (方法・次第等概要)	議決方式。 終了後に、意見交換と校内施設見学を実施した。			
意見件数	0件（担当事業 0件、担当事業外 0件）	発言者数	5人	
意見概要	a：定員を確保し、地元のものづくり企業への人材輩出をお願いしたい。 b：子ども向けの「ものづくり教室」を開催してほしい。 c：新入社員の安全教育を実施されたい。 d：当社には5軸加工機があるので、見に来ていただきたい。			
施策への 反映の方向性	a：広報により校の認知度を高めた。「事業主推薦制度」、「指定校推薦制度」の導入で、定員確保に努めている。 b：沼津市の「門池福祉まつり」において、ものづくり体験を行い、好評を得た。 c：2年が可能なら、事業主推薦で入校させていただきたい。単位制でその授業のみ受講できるかは、制度がなく、できるか不明である。 d：校長、担当指導員等で、意見した企業を視察した。学生の実習など、訓練に活用できるかは、視察した担当指導員に検討してもらっている。			
企画運営担当	所属	経済産業部 工科短期大学校学務課	担当者	電話 054-345-2032

# 県政さわやかタウンミーティング

令和6年5月20日

静岡県東部農林事務所生産振興課長

主催者	部局	経済産業部	所属	東部農林事務所企画経営課
開催日時	令和6年07月10日（水） 15時～16時30分			
会場	JAふじ伊豆 伊豆の国地区本部（）			
名称	県政さわやかタウンミーティング			
テーマ	伊豆の国市の農業を推進する若手担い手農家の育成			
開催目的	伊豆の国市は、県外や他産業からの新規就農者の受け入れに積極的で県内一の受け入れ実績を誇っている。新たに農業経営を開始したニューファーマーを支援するため、農家、JA、市、県など関係機関との意見交換を実施する。			
参加者	JAふじ伊豆伊豆の国地区の新規就農者等 15人 男 15人 女 0人 <input type="checkbox"/> 小学生未満 <input type="checkbox"/> 高校生 <input type="checkbox"/> 特別支援学校生 <input type="checkbox"/> 小学生 <input type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> 中学生 <input checked="" type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> その他（）			
対応者	静岡県東部農林事務所生産振興課長			

## 開催結果概要

開催方法 (方法・次第等 概要)	農業者から関係機関への要望や課題についての意見交換の時間を設けた					
意見件数	5件（担当事業 1件、担当事業外 4件）	発言者数	11人			
意見概要	新規就農者が借りた農地について、契約期間終了後の継続契約の条件についてトラブルがあるので、対策を検討したい。					
施策への 反映の方向性	農地の貸借に関する機関（県、市、農業振興公社）で対策を検討する。					
企画運営担当	所属	経済産業部 東部農林事務所生産振興課	担当者	大宮琢磨	電話	055-920-2158

## 県政さわやかタウンミーティング

令和6年5月21日

工業技術研究所長

主催者	部局	経済産業部	所属	工業技術研究所企画調整部
開催日時	令和6年07月11日（木） 15時～17時			
会場	レイアップ御幸町ビル（）			
名称	県政さわやかタウンミーティング			
テーマ	(1)DXの取組事例とその課題について(2)GXの取組事例とその課題について(3)人材確保や技能伝承に関する現状と課題について(4)研究所に期待する支援について			
開催目的	工業技術研究所の活動の円滑化と健全な発展を目的に、静岡県工業技術研究所静岡協議会委員から意見や要望を伺い、中小企業等への支援施策に反映させる。			
参加者	静岡県工業技術研究所静岡協議会委員			14人 男 14人 女 0人
	<input type="checkbox"/> 小学生未満 <input type="checkbox"/> 高校生 <input type="checkbox"/> 特別支援学校生 <input type="checkbox"/> 小学生 <input type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> 中学生 <input checked="" type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> その他（）			
対応者	工業技術研究所長			

### 開催結果概要

開催方法 (方法・次第等 概要)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研究所の昨年度業務実績及び今年度研究概要の報告</li> <li>・昨年度協議会委員会の意見に対する研究所の対応結果の報告</li> <li>・各部会開催結果の報告</li> <li>・共通テーマについての意見交換</li> </ul>					
意見件数	14件（担当事業 14件、担当事業外 0件）	発言者数	14人			
意見概要	<p>(1)DXの取組事例とその課題について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生産管理のデジタル化やペーパーレス化に取り組んでいる。・作業量が増加してしまうことや慣れるのに時間がかかることが課題である。</li> </ul> <p>(2)GXの取組事例とその課題について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・太陽光パネルは、節電よりも遮光効果が大きい。・プラスチックの分別は困難で、コストが高い。</li> </ul> <p>(3)人材確保や技能伝承に関する現状と課題について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人材確保について、デジタル化が進み、若い世代の人材が求められており、専門学校生がスキルが高いので、募集している。・採用した社員を全社員で愛をもって育てるということをしている。</li> </ul> <p>(4)研究所に期待する支援について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も、県内産業の活性化に関わるテーマへの支援を引き続きお願いしたい。</li> <li>・マッチングにより、静岡のブランドを世界に広げていくため、ブランディングづくりを手助けしてほしい。</li> </ul>					
施策への 反映の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・DXは手法であり、目的達成できるよう、企業の状況に合わせた成功事例の紹介や人材育成等に力を入れていく。</li> <li>・脱炭素化に向けて、排出量の把握に関する情報提供のみならず、研究テーマとして、脱プラに関する研究、食品残渣の有効活用に関する研究、金属分野で製造時の排出削減研究等に取り組んでいく。</li> <li>・人材育成について、IoT大学連携講座、総合食品学講座、CNF人材育成講座などに力を入れており、各科が事務局である研究会とも連携して積極的に講座、セミナー、見学会などについても積極的に開催していく。</li> </ul>					
企画運営担当	所属	経済産業部 工業技術研究所企画調整部	担当者	佐野 芳浩	電話	054-278-3028

# 県政さわやかタウンミーティング

令和6年7月25日

沼津キャンパス長

主催者	部局	経済産業部	所属	工科短期大学校沼津キャンパス
開催日時	令和6年07月26日（金） 11時～12時			
会場	メタバース（Metaverse SHIZUOKA）（）			
名称	県政さわやかタウンミーティング メタバースを活用したオープンキャンパスあり方意見交換会			
テーマ	感染症も増えてきたし熱中症で外出危ないし新幹線止まったりする中で、誰でもいつでもオープンキャンパス情報を得られるには			
開催目的	メタバース空間にオープンキャンパス情報を掲載し、入校者確保に向け関係者との意見交換会を行う（仮想オープンキャンパス）。効果効率的な開催方法・回数等、今後のオープンキャンパスほか広報活動に反映させる。			
参加者	<p>ロントラ（株） <span style="float:right">2人 男 1人 女 1人</span></p> <p><input type="checkbox"/> 小学生未満      <input type="checkbox"/> 高校生      <input type="checkbox"/> 特別支援学校生</p> <p><input type="checkbox"/> 小学生      <input type="checkbox"/> 大学生</p> <p><input type="checkbox"/> 中学生      <input checked="" type="checkbox"/> 一般</p> <p><input type="checkbox"/> その他（）</p> <p>キャリアコンサルタント <span style="float:right">1人 男 1人 女 0人</span></p> <p><input type="checkbox"/> 小学生未満      <input type="checkbox"/> 高校生      <input type="checkbox"/> 特別支援学校生</p> <p><input type="checkbox"/> 小学生      <input type="checkbox"/> 大学生</p> <p><input type="checkbox"/> 中学生      <input checked="" type="checkbox"/> 一般</p> <p><input type="checkbox"/> その他（）</p> <p>Google <span style="float:right">1人 男 1人 女 0人</span></p> <p><input type="checkbox"/> 小学生未満      <input type="checkbox"/> 高校生      <input type="checkbox"/> 特別支援学校生</p> <p><input type="checkbox"/> 小学生      <input type="checkbox"/> 大学生</p> <p><input type="checkbox"/> 中学生      <input checked="" type="checkbox"/> 一般</p> <p><input type="checkbox"/> その他（）</p> <p>県教委 <span style="float:right">4人 男 3人 女 1人</span></p> <p><input type="checkbox"/> 小学生未満      <input type="checkbox"/> 高校生      <input type="checkbox"/> 特別支援学校生</p> <p><input type="checkbox"/> 小学生      <input type="checkbox"/> 大学生</p> <p><input type="checkbox"/> 中学生      <input type="checkbox"/> 一般</p> <p><input type="checkbox"/> その他（）</p>			
対応者	沼津キャンパス長			

## 開催結果概要

開催方法 (方法・次第等 概要)	メタバースを活用した仮想領域展開		
意見件数	16件（担当事業 10件、担当事業外 6件）	発言者数	16人
意見概要	<p>⇨仮説</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校そのものを仮想空間に作ってしまえば、授業もできる</li> <li>・オープンキャンパス、対面で伝えている情報を、いつでも誰でも得られるようにできれば、サービスは向上する（年10回開催：回数は多い方がいい⇨職員負担等→年0回：メタバースや日々の授業参観で補完） （状況）</li> <li>・危険な暑さ・感染症対策・交通機関の突然の乱れなど、対面を補完する場の設定は必要</li> </ul>		

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活発に利用されているとは言いがたいメタバース（某所管課さんは「使わせてもいいけど」みたいな感じでした）</li> <li>・慣れを兼ね、今後の広報について意見交換を実施、可能性を検討（意見交換概要）</li> <li>・公的な情報発信の価値（軽い、ライトな立場からの発信では信頼度が低い）</li> <li>・認知度低い層にどうアプローチしていくか</li> <li>・メタバース使用メリット・デメリット（匿名性を活かした相談会等内容の親和性、通信環境問題等）</li> </ul>				
施策への反映の方向性	県民意見を多く聞く・教育機会の多様な選択肢のためにはメタバースは有用。対面とのハイブリッドで効果を高めていくが、職員の意識の壁が大きい。教委では試行の場として参考になった様子。				
企画運営担当	所属	経済産業部 工科短期大学校	担当者	岩崎正	電話 055-925-1074

## 県政さわやかタウンミーティング

令和6年5月20日

農林水産担当部長

主催者	部局	経済産業部	所属	農業局農業戦略課
開催日時	令和6年08月06日（火） 15時～17時			
会場	静岡県農業共済会館（）			
名称	県政さわやかタウンミーティング 県経済産業部と農業経営士協会との意見交換会			
テーマ	農業経営士協会から県への農業施策要望			
開催目的	地域における指導的な役割を果たすとして知事が認定した農業経営士と県幹部職員との意見交換会を行う			
参加者	農業経営士協会 <input type="checkbox"/> 小学生未満 <input type="checkbox"/> 高校生 <input type="checkbox"/> 特別支援学校生 <input type="checkbox"/> 小学生 <input type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> 中学生 <input checked="" type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> その他（）			16人 男 16人 女 0人
対応者	農林水産担当部長 経済産業部理事 農業局長 農業局各課長 農地計画課長 マーケティング課長			

### 開催結果概要

開催方法 (方法・次第等概要)	農業経営士と経済産業部幹部との意見交換					
意見件数	6件（担当事業 6件、担当事業外 0件）		発言者数	7人		
意見概要	本県農業経営士の抱える課題と取組について、以下の3テーマを中心に県施策の説明や今後の展開について意見交換が行われた。 ・茶業経営支援、輸出促進について ・食肉センター整備について ・燃油、飼料、肥料等の高騰について					
施策への反映の方向性	農業経営士から提案のあった意見を参考にし、本県農業を推進していく。					
企画運営担当	所属	経済産業部 農業局農業戦略課	担当者	中村明弘	電話	054-221-3290

# 県政さわやかタウンミーティング

令和6年5月20日

農業振興部長

主催者	部局	経済産業部	所属	中遠農林事務所生産振興課
開催日時	令和6年11月19日（火） 13時30分～15時			
会場	掛川グランドホテル（）			
名称	県政さわやかタウンミーティング 中遠地域農業経営士連絡会等との意見交換会			
テーマ	中遠地域の農業振興について			
開催目的	担い手農業者から農業振興施策等について意見聴取			
参加者	中遠地域農業経営士連絡会等 <span style="float: right;">9人 男 7人 女 2人</span> <input type="checkbox"/> 小学生未満 <input type="checkbox"/> 高校生 <input type="checkbox"/> 特別支援学校生 <input type="checkbox"/> 小学生 <input type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> 中学生 <input type="checkbox"/> 一般 <input checked="" type="checkbox"/> その他（）			
対応者	農業振興部長 生産振興課長			

## 開 催 結 果 概 要

開催方法 (方法・次第等 概要)	市議会議員、農業委員会会長に話題提供いただいた後、農業者と農林事務所で意見交換を実施した。					
意見件数	4件（担当事業 0件、担当事業外 0件）	発言者数	9人			
意見概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 農地を守ることは必要だが、条件が悪い農地も守るべきか考える必要がある。</li> <li>・ 中規模の地域に根ざした農家を、いかにして守るか考えないといけない。</li> <li>・ 農地集約を進めて、耕作してくれる人がやりやすいようにする必要がある。</li> <li>・ お茶を飲む文化を、子供達に伝えていかないとお茶の消費が落ちてしまう。</li> </ul>					
施策への 反映の方向性	地域計画の話し合い等の際に、農地活用について地元で考えた意見を、行政に提案いただく。					
企画運営担当	所属	経済産業部 中遠農林事務所生産振興課	担当者	鈴木康詞	電話	0537-37-2269

# 県政さわやかタウンミーティング

令和6年11月27日

所長

主催者	部局	経済産業部	所属	中部農林事務所企画経営課
開催日時	令和6年12月05日（木） 15時～17時			
会場	静岡市内（）			
名称	県政さわやかタウンミーティング 中部地域農業経営士会との意見交換会			
テーマ	中部地域の農業振興について			
開催目的	担い手農業者から農業振興施策等への意見聴取			
参加者	中部地域農業経営士連絡会 <input type="checkbox"/> 小学生未満 <input type="checkbox"/> 高校生 <input type="checkbox"/> 特別支援学校生 <input type="checkbox"/> 小学生 <input type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> 中学生 <input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> その他（）			19人 男 18人 女 1人
対応者	所長 農業振興部長 技監兼企画経営課長 農山村整備部技監 生産振興課長 地域振興課長			

開催結果概要						
開催方法 (方法・次第等 概要)	中部地域農業経営士と農林事務所による意見交換会					
意見件数	4件（担当事業 4件、担当事業外 0件）	発言者数	19人			
意見概要	管内の農業経営士の抱える課題と取組について ・猛暑による高温障害の影響や対策 ・臨時雇用の確保など雇用対策 ・鳥獣被害対策 ・農産物の販売対策（輸出も含む）					
施策への 反映の方向性	意見を参考にし、県庁関係課と連携をとりながら施策への反映を進めていく。					
企画運営担当	所属	経済産業部 中部農林事務所企画経営課	担当者	永岡 敬朗	電話	054-286-9260

## 県政さわやかタウンミーティング

令和6年5月21日

西部農林事務所 天竜農林局長

主催者	部局	経済産業部	所属	西部農林事務所天竜農林局森林整備課
開催日時	令和7年01月21日（火） 14時～16時			
会場	北遠総合庁舎4階 大会議室（ ）			
名称	県政さわやかタウンミーティング 天竜林業の未来創造会議			
テーマ	天竜林業の現状、今後の林業経営、スマート林業導入報告			
開催目的	天竜流域が目指すべき森林・林業の姿を明らかにし、活力を高めるための意見交換や共通認識を形成する			
参加者	管内林業経営体等幹部 <input type="checkbox"/> 小学生未満 <input type="checkbox"/> 高校生 <input type="checkbox"/> 特別支援学校生 <input type="checkbox"/> 小学生 <input type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> 中学生 <input type="checkbox"/> 一般 <input checked="" type="checkbox"/> その他（13）			13人 男 13人 女 0人
対応者	西部農林事務所 天竜農林局長			

### 開 催 結 果 概 要

開催方法 (方法・次第等 概要)	対面開催 令和6年度天竜林業の未来創造会議 1 開会 2 議題 (1) 木材生産量等から見た天竜林業の現状 (2) 今後の林業経営について ～意見交換～ ・利用間伐主体の木材生産がいつまでできるのか ・人材確保に向け、どのように取り組んでいくか (3) スマート林業導入支援事業報告 3 その他 浜松市情報提供 4 閉会					
意見件数	13件（担当事業 13件、担当事業外 0件）	発言者数	13人			
意見概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 再造林は、木材価格の低迷や再造林経費が負担となるため、当面利用間伐を進める。</li> <li>・ 主伐か間伐かではなく、需要と供給の視点で考え、世間が必要としている材が何かを考え、木材を出すことが重要。</li> <li>・ 天竜地域には森林認証（FSC）という強みがある。これを生かした取組を進めていくべき。</li> <li>・ 人材確保には、ケガをしない環境を作ることが重要で、そのためには従業員同士のコミュニケーションが欠かせない。現場でのコミュニケーションを根気よく続けていくしかない。</li> <li>・ 労働安全の3要素「知識と意識と装備」を徹底し、林業労働安全を進めている。</li> </ul>					
施策への 反映の方向性	森林整備や人材確保に関しては、県や市で様々な補助事業がある。これらを効果的に活用するよう促しつつ、関係者の実情に応じた支援を継続していく。					
企画運営担当	所属	経済産業部 西部農林事務所天竜農林局森林整備課	担当者	辻井	電話	2319